

令和5年度 WEC 応用生態研究助成 審査結果

令和5年度 WEC 応用生態研究助成の募集に、25 件のご応募をいただきました。

採択の審査にあたっては、外部審査委員による審査委員会を開催しました。審査委員会においては、新規性、ダム管理にとっての重要性、結果の応用性・現場への適用性、研究の実現性、若手研究者の将来性等の観点から、申請された研究課題について評価を行いました。厳正なる審査の結果、下記の4件を助成研究として採択することになりました。

採択された研究が、良い成果を上げることを期待します。

令和5年度 WEC 応用生態研究助成 採択研究

助成番号	研究テーマ	氏名	所属	助成年数
2023-01	湖におけるマイクロプラスチックの動態解明	塚川 岳大	信州大学大学院 総合理工学研究科	1
2023-02	霞ヶ浦がスズキ個体群に与える効果の解明と水門の影響評価	高井 万葉	東京大学大学院 農学生命科学研究科	1
2023-03	底質中鉄の化学形態とリン酸保持機能に関する天然湖とダム湖の比較湖沼学的研究	板井 啓明	東京大学大学院 理学系研究科	2
2023-04	ダム水源地における撤退集落・農地の自然復元・再生に向けた参加・共創アプローチの方法論の開発	宮本 善和	鳥取大学工学部 社会システム 土木系学科	2

また、令和4年度に2年研究として採択された下記3件については、今年度研究を継続することになりました。研究がより進展することを期待します。

令和5年度 WEC 応用生態研究助成 継続決定研究

助成番号	研究テーマ	氏名	所属	助成年数
2022-01	ダムはサケ科魚類の降海関連 DNA 変異の維持機能を有するか？	佐藤 拓哉	京都大学 生態学研究センター	2
2022-02	貯水池に生育する減水裸地植物の生態学的及び進化的実態の解明	原田 泰地	東北大学 理学部生物科	2
2022-03	蛹脱皮殻を利用したダム湖湖底に生息する水生昆虫類の簡易調査法の開発とその利用	平林 公男	信州大学学術研究院 理工学域繊維学系	2